



令和7年度 長野市立篠ノ井東中学校 グランドデザイン

学校教育目標

「人にやさしさ 自分につよさ」

- 春風をもって人に接し 秋霜をもって己を慎む -

□人にやさしさ

- (1) 仲間との絆を深める
- (2) 差別やいじめをしない
- (3) ふるさと篠ノ井を愛する

□自分につよさ

- (1) 勉学・清掃に励む
- (2) 体験的に学ぶ
- (3) マナーや規則を守る

しなのきプランⅡ
「自ら学び 共に育つ」
～ウェルビーイングの実現～
子どもたちの【自学自習の資質能力】の伸長を支援



「みんなで創る やさしさと輝きあふれる学校」 ～自立した生徒、地域に貢献する生徒の姿を求めて～

R7 生徒会スローガン 「彩」 いろどり
～みんなの色で染まる東中～

○生徒・保護者・学校運営委員会、篠ノ井地域、校区内小中高連携
・篠ノ井西中学校
・通明小学校
・篠ノ井東小学校
・更級農業高校
・篠ノ井高校
・長野俊英高校

目指す生徒の姿：自立した生徒・地域に貢献する生徒

自立：自ら気づき、考え判断し、行動する

自立した生徒の姿： ○自分をみつめることができる ○仲間（人）とかわることができる ○社会とのつながりを考えることができる

貢献：ふるさと「篠ノ井」を愛し、地域へ感謝の気持ちをもって行動する

学び合い、高め合う学校

- 自ら学ぶ授業・家庭学習
全校研究テーマ「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～生徒の自走を支援する学習指導～」
◇自学自習の資質・能力の育成
・自らの学びを計画するプランニングタイム（PT）の実施
・「家でも学習したい！」を引き出す授業づくり
◇「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
・生徒の興味、予想、見通しに沿った探究的な学びの実践
・ICTを効果的に活用した授業づくり
◇授業のユニバーサルデザイン化
・多様な学び方を支援する環境づくり
○清掃の質的向上
・自分自身と向き合う気づき、無言清掃
・異学年による縦割り清掃、みがき隊

認め合い、支え合う学校

- 自ら考え、行動する生徒会
◇「伝統」活動の進化
・東中四本柱（あいさつ、無言清掃、感謝、合唱）への取組拡大と推進
・差別やいじめをなくす「東中人権宣言」、「学級人権宣言」の取組の具現
・生徒の意見を取り入れた提案・企画や集会運営（人権集会・音楽集会等）
◇地域貢献活動への取組
・自主的な環境美化活動の地域貢献
・篠ノ井あいさつ運動や地域行事への積極的な参加
○自他への思いやり
・互いのよさを認め合い、支え合う学級・学年・学校全体の集団づくり
・活動や学びから得た達成感による、自己肯定感の高まりを目指す

地域と共にある学校

- 自ら地域に学ぶキャリア教育
◇地域学習「篠ノ井学」の充実
・地域に出かけ、地域の「人・もの・こと」から学び、ふるさと「篠ノ井」について考え方まとめ、発表する学習、企業と連携し、ふるさとを発信する新商品開発を目指した探究学習への挑戦
・地域での職業見学・職場体験学習を通して、「働くこと」、自分の将来の夢や目標について考える学習の充実
◇校種間連携の推進
・校区内の小学校及び地域にある中・高校との連携・協働の推進
○地域とのつながり
・生徒の企画による地域貢献活動
・学校だより、HPや定期的な学校開放による教育活動の情報発信

安全安心な学校

- 生徒・保護者・地域の方々との信頼関係の構築（創立60周年の節目、「みんなで創る」学校づくりの推進、非違行為防止研修の実施）
- 子どもの命、安全安心を第一優先に「危険予測・回避能力を高め、自ら判断・行動できる」生徒を育む実践的な安全・防災教育の実施、思いやりの心を育む道徳・人権教育の充実（いじめの未然防止、「いじめ防止」への取組の充実、早期発見・早期対応）
- 一人一人の子どものよさや頑張りを認め励まし、自己肯定感を育む寄り添った支援の充実
- 生徒や保護者との教育相談の充実（定期的な相談に加え、いつでも、どの職員とでも相談できる体制づくりと周知）
- どの生徒にとっても安心して学べる居場所づくり（校内教育支援センター（相談室）、図書館等の利用推進、オンライン学習推進）
- ◆「学校生活が楽しい」と感じる生徒の割合を高める。（R6年度学校評価アンケート結果 生徒85% 保護者86% 教職員90%）